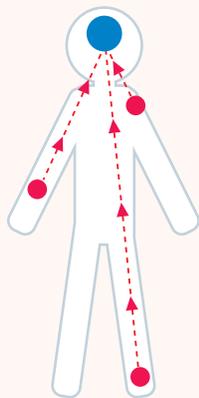


狂犬病のあまり知られていない知識



(※1) 特殊な例として2週間

※具体的な期間、日数については情報収集したサイトにより諸説ばらつきがあります。



潜伏期間について

狂犬病ウイルスは咬まれた場所から一日に数ミリ～数十ミリずつ神経を伝って脳に到達し発病します。脳からの距離が遠ければ遠いほど発病までに時間がかかります。

※頭に近い部位を咬まれた場合は、短期間で発病する可能性があります。

咬んだ犬を特定できる場合

受傷してから2週間以上その動物が狂犬病の症状を示さない場合には、咬まれたときに狂犬病に感染した可能性を否定できます。

※厚生労働省のサイトより
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou10/07.html>

犬に咬まれたらすべきこと

- すぐに傷口を水で洗う。石けんで洗うのもかなり有効。
- 消毒液やエタノールで消毒する。
- 飼い犬であれば、飼い主に予防接種歴などを聞く。
- 頭に近い場所を咬まれた場合、速やかに病院に行く。

(狂犬病ウイルスは弱いウイルスなのでこれで大半は死滅する。)

口で傷口から毒を吸い出す行為は絶対駄目です。

口の粘膜からウイルスを取り込む危険性があります。

※上記の情報などを利用したことによって起こる損害についての責任はこちらにはなく、補償は一切いたしません。

上記の情報はアドバイス程度とお考え下さい。

生死に関わる問題なので、必ずご自身でも狂犬病の事を調べて下さい。

下記は参考にしたサイトです。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%8B%82%E7%8A%AC%E7%97%85>

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/disease/rabies.html>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou10/07.html>